



コンバインでの刈取りを見学



刈り取った稲を丁寧に運ぶ児童



初めての鎌を手に稲刈りスタート

実りの秋を満喫 ～第四小学校児童稲刈り～

能代市第四小学校の児童は9月27日、黄金色に染まった水田に入り、「あきたこまち」を稲刈り鎌で丁寧に刈取り収穫の喜びを味わいました。稲刈りを体験したのは同校の4年生児童57人。地域農業を学ぶ機会として総合的な学習の時間を活用し実施。青年部員の協力を得て、学校近くの水田の一角約5アールで稲刈りに挑戦しました。

秋晴れの下、頭（こごべ）を垂れた稲穂の重みを感じながら、鎌を手に稲を1株ずつ丁寧に収穫。圃場内は友達と楽しそうに収穫する児童らの笑顔で溢れて、「収穫したお米を食べるのが楽しみ」と話しておりました。



見事ベスト4入りを果たした淳城南小学校野球部

淳城南小学校、4強入り

～JA共済学童野球大会～

第22回JA共済学童野球大会が9月14、15日の両日秋田市で開催され、当JA代表として出場した淳城南小学校野球部が、準決勝で惜敗したもののベスト4入りを果たしました。

JA共済の地域貢献活動の一環として開催されているもので、大会には県内13JA代表チームのスポーツ少年団の児童が参加し、熱戦が繰り広げられました。開会式では主将の田中雅大くんが力強く選手宣誓を行い、大会がスタート。保護者らの応援も熱が入り会場は熱気に包まれていました。

試合結果は次のとおり。

▽準々決勝（1回戦シード）
淳城南小学校野球部4―3出戸野球スポーツ少年団（JA秋田なまはげ）

▽準決勝
淳城南小学校野球部6―8羽城ジュニア野球スポーツ少年団（JAあきた湖東）



力強く選手宣誓した田中くん

「あきた白神米」を求め車列 ～新米直売会～

JA集約農業倉庫の特設会場で9月30日、「あきた白神米」を、いち早く消費者へ提供するため、新米直売会を開催しました。

あきたこまち一等米の玄米840袋（1袋30kg）を用意し、1袋1万1000円で販売。会場には287人が来場し、車に乗ったまま購入の手続きが出来る、ドライブスルー方式で行われました。会場は車列が出来るほど賑わいをみせ、お昼頃には完売となり「あきた白神米」の人気の高さがかがえました。



新米を積み込むJA職員

米の全量集荷へ ～受検組合長会議～

受検組合長会議が9月9日、管内3地区で一斉に開催されました。会議では令和6年度米の概算金・買取価格を説明した後、刈取り適期の目安を呼び掛け、各項目に詳しい留意点などを確認しました。

また、適期刈取、適正乾燥、適正量目に務め「あきた白神米」の信頼を維持するよう申し合わせた他、米の盗難被害に警戒するよう伝えました。

当JAでは生産者の力を結集して、令和6年度の集荷目標23万4000俵の達成に向け取り組んでおります。



米の全量集荷に向けあいさつする工藤専務



辞令を受取る新採用職員

更なる活躍を期待 ～採用辞令交付式～

今年4月に入組し6カ月の試用期間を終えた新入職員の採用辞令交付式が10月1日行われ、一回り成長した5人を正式に採用しました。

交付式では工藤組合長が一人一人に辞令書を手渡し「皆さんの持っている柔軟で豊かな感性を生かし、更なる活躍を期待している」と激励の言葉を贈りました。

本採用となった職員は、身に付けていた「初心者マーク」の札を外して、これまで以上に気を引き締めて業務に取り組んでまいります。



窓ふき作業を行う能代支援学校の生徒

白神憩の郷で作業学習 ～能代支援学校～

能代支援学校の作業学習の一環として、地域での清掃活動が9月5日、白神憩の郷で行われました。

日頃の授業の成果を発揮し、地域に貢献する活動を通して、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学ぶもので、当日は福祉関係の進路を希望している生徒を含む、高等部の生徒3名が、窓ふき掃除などの活動を行いました。

当JAでは、今後とも各学校の職業体験を受け入れながら、JAの魅力伝えてまいります。